

## 地元商店街アンケート調査結果

## 1. 調査の目的

地元商店街アンケート調査では、長浜地域の商店街の関係者から、長浜内港埋立地との関わり方(出店意向や連携など)について意見を聴取することを目的とする。

## 2. 調査の概要

調査期間: 令和5年7月21日 ~ 令和5年8月21日

依頼数 : 45事業者

回答率 : 42%(19/45)

## 3. 調査項目

アンケート調査では、業種や営業年数、経営者の年代など「商店の概要」について、また、「当該事業との関わり方」について伺った。

表: 調査項目

	調査項目		調査項目
商店の概要	業種	当該事業との関わり方について	自身の店の関わり方
	営業年数		連携する上での課題
	経営者の年代		その他
	主な客層		
	今後の継続意向		

## ①商店の概要

商店街の概要として【業種】【営業年数】【経営者の年代】【主な客層】【今後の継続意向】について調査を実施した。

【業種】では「**飲食**」が最も多く(42%)、次に「**サービス業**」が多い(21%)結果となった。

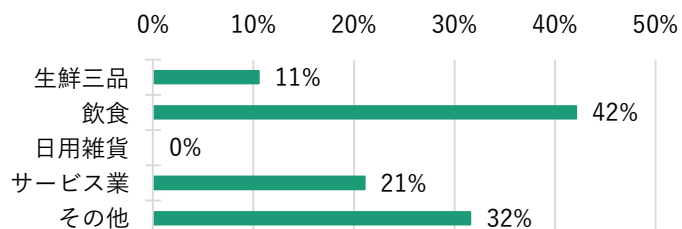
【営業年数】では「**10年以上**」が最も多く(84%)、次に「**5~10年未満**」が次に多い(11%)結果となった。

【経営者の年代】では「**70代以上**」が最も多く(47%)、次に「**60代**」が多い(37%)結果となった。

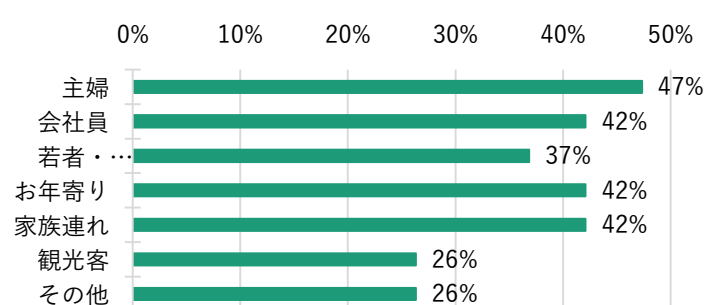
【主な客層】では「**主婦**」が最も多く(47%)、次に「**会社員**」「**お年寄り**」「**家族連れ**」が多い(42%)結果となった。

【今後の継続意向】では「**今後も継続して同じ事業を実施していきたい**」が最も多く(74%)が多いとなった。

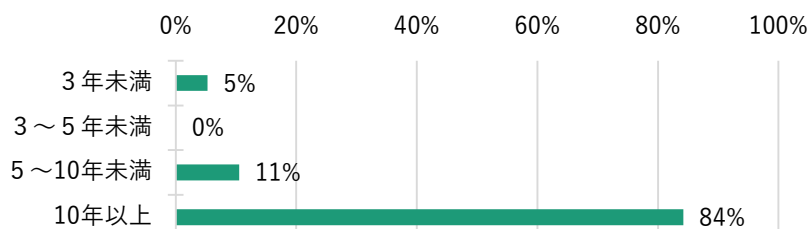
■業種 (N=20人)



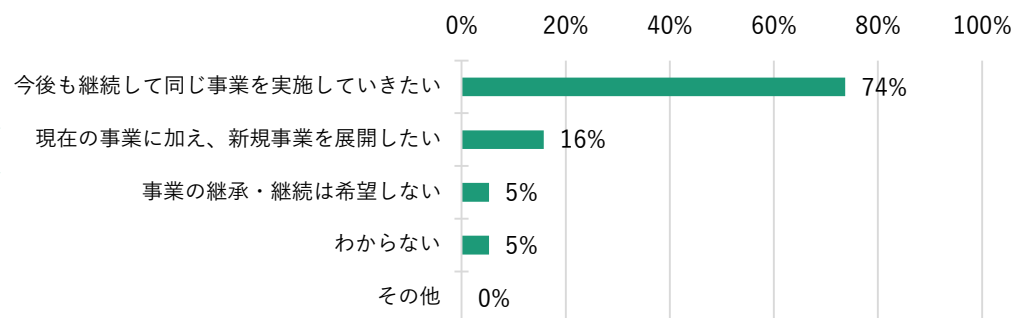
■主な客層 (N=50人)



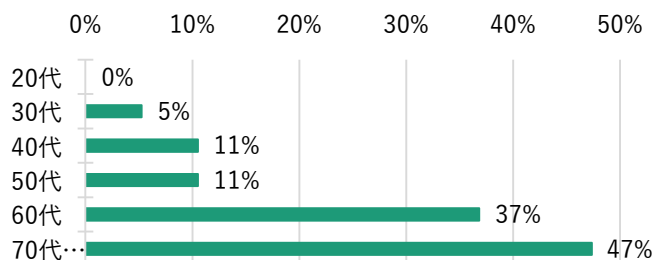
■営業年数 (N=19人)



■今後の継続意向 (N=19人)



■経営者の年代 (N=21人)



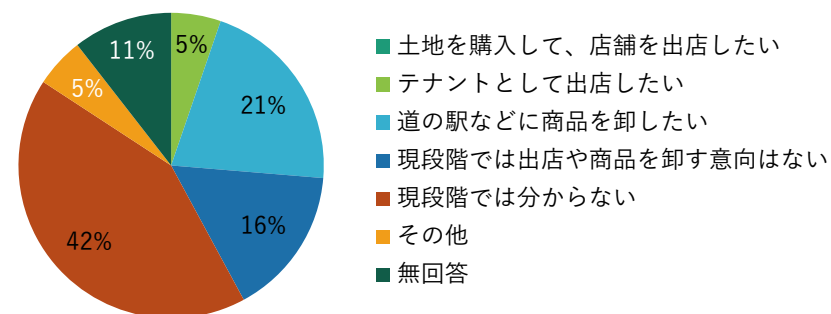
## ②当該事業との関わり方について(1)

### ■本事業との関わり方

・本事業との関わり方については、「現時点ではわからない」が最も多く(42%)、次に「道の駅などに商品を卸したい」が多い(21%)結果となっている。

表:本事業との連携等を実施する上での課題等 の集計結果

分類	選択肢	回答者数	割合
本事業との関わり方	土地を購入して、店舗を出店したい	0人	0%
	テナントとして出店したい	1人	5%
	道の駅などに商品を卸したい	4人	21%
	現段階では出店や商品を卸す意向はない	3人	16%
	現段階では分からない	8人	42%
	その他	1人	5%
	無回答	2人	11%
	合計	19人	100%



### ■本事業との連携等を実施する上での課題等

- ・事業連携を実施する上での課題としては、他地域からのテナント出店に対する地元商店への配慮についての意見が挙がった。
- ・また、商店街の人手不足、空き家増加の課題についての意見も挙がった。

表:本事業との連携等を実施する上での課題等 の集計結果

主な回答
・他地域からのテナントや出店があった場合に、地元商店との軋轢ができるだけ生じない様な配慮が必要。
・人の減少、事業継承者不足、空き家の増加が課題。

### ③その他 意見・要望

「その他 意見・要望」としては、**地域性を活かした事業、施設整備の要望**が挙がっており、本事業の**地域再生のシンボル施設としての期待**や、**事業完成までの期間の人材確保**についての意見などが挙がっている。

表:その他 意見・要望の集計結果

#### 主な回答

- ・ 立地条件としては良い場所なので、農業・漁業を生かした集客性の高い施設を実現してほしい。
- ・ 地域のために重要な事業だと思う。
- ・ 事業の販路の拡大のため、道の駅などを整備してほしい。
- ・ 早期に事業を実施してほしい。
- ・ 長浜の再生をかけた重要なプロジェクトと考える。
- ・ 経済・文化・スポーツ・レジャー等を目的に老若男女多くの人々が交流し、楽しみを享受できる長浜のシンボリックな施設となしてほしい。
- ・ 埋立事業が完成するまでの間に、長浜で起業する人を早い段階で巻き込む取り組みが大事。
- ・ 長浜でしかない独自性を生かした街づくりと併せての埋立事業をしてほしい。